※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和５年度　芸術科

教科	芸術科	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「 書道Ⅰ」　（教育出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させ、親しみやすい教材を通して様々な書体を体験することで、自分らしい文字を書くことができるようになることを目指しましょう。
・身近に飾れる作品を制作することで、書表現の楽しさを実感し、また達成感を味わいましょう。
・授業では、「丁寧に書く」「きれいに書く」ではなく、「どんな作品にしたいのか」→そのために「どんな工夫が必要なのか」を自身で考え、意図的に取り組む制作活動を行います。
・授業の進め方は、毎授業での目標を明確にし、書制作の意図や書写技能と鑑賞を並行して扱います。
・評価方法については、各単元・毎授業での取り組み方を観察、各単元・授業毎の作品や制作カードをとおして完成までの課程や理解度などを評価します。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方や考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにします。

(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにします。

(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想して表 現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書写と書道	・国語科書写と芸術科書道について	［共通事項］ a:知識 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 c:芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。	・ワークシート		・観察 ・ワークシート
	篆刻の学習	・書体の変遷	［共通事項］ a:知識 日本および中国等の文字と書の歴史と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 b:漢字の書体の変遷そその良さや美しさを味わって捉えている。 c:漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシート ・小テスト		・観察
		・名印(一字印)制作	［共通事項］ a:知識 篆刻の線の美や、刻し方による趣の違いを味わい理解している。 a:技能 書体の字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 b:書体の字形や構成について構想し工夫している。 c:主体的に篆刻の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・制作カード	・成果物(六分印)	・ふりかえり
	行書の学習	・筆の弾力と筆の呼吸を知る ・漢字一字創作	［共通事項］ a:知識 筆の弾力や筆の呼吸に関心をもち、筆圧の違いや呼吸の長さによる表現の違いを理解している。 a:技能 筆の弾力や呼吸を利用する用筆方法を見につけ表している。 b:筆圧の違いや呼吸の長さによる表現の違いを理解し、意図的に工夫している。 c:主体的に筆の弾力や呼吸について関心をもち、積極的に表現方法を学ぼうとしている。	・鑑賞 ・ワークシート ・制作カード	・成果物 ・成果物	・観察 ・ふりかえり ・相互批評 ・観察

※令和４年度以降入学生用

一学期		・作品表具	［共通事項］ a:知識 表具材料の使い方や表具の効果を理解している。 a:技能 表具材料を正しく使用し、手際よく作品表具できる技術を身につけ表している。 c:自身の作品がよりよく見えるよう、表具技術を積極的に身につけ、主体的に自身の学習活動に取り組んでいる。	・ワークシート	・成果物	・観察 ・ふりかえり
	行書の学習	・行書の古典から学ぶ 「蘭亭序」	［共通事項］ a:知識 行書の古典の書体や書風・用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 b:行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 c:主体的に古典を鑑賞し、その書風について理解して、そのよさを味わっている。	・ワークシート	・成果物	・観察 ・ふりかえり ・相互批評
二学期	漢字の書	・コンクールに出品	［共通事項］ a:知識 さまざまな古典の書体や書風、字形や用筆の特徴の違いについて理解している。 a:技能 さまざまな古典の字形や用筆などの特徴を捉え、書風を生かし表わしている。 b:さまざまな古典の基本的な用筆法方を理解し、表現を工夫している。 c:さまざまな古典の美とその表現技法について関心をもち、主体的に自身の表現活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・成果物	・観察 ・相互批評 ・ふりかえり
	楷書の学習	・楷書の古典から学ぶ 「九成宮醴泉銘」 「顔氏家廟碑」 「牛橛造像記」 ・楷書の創作	［共通事項］ a:知識 楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 b:楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 c:楷書のよさや美しさを読みとり、楷書の表現の特質に基づく表現をする学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・制作カード	・成果物 ・成果物	・観察 ・ふりかえり ・相互批評 ・観察

※令和４年度以降入学生用

二学期	漢字仮名交じりの書	・古典を生かした表現 ・紙面構成を考える ・創作	［共通事項］ a:知識 線質、字形等の要素と表現効果や書風との関わりについて理解している。 a:技能 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、落款の位置や周囲の余白も想定した全体の構成と表現形式を意図に基づいて構想し工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく学習活動を主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・制作カード	・成果物 ・成果物	・観察 ・ふりかえり ・観察 ・相互批評 ・ふりかえり
		・著作権について考える	［共通事項］ b:生活や社会における書の効用について理解している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		・ワークシート	・観察
三学期	仮名の書	・仮名の成立と変遷	［共通事項］ a:知識 線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 c:主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・小テスト		・観察
		・基本用筆、運筆の学習 ・いろは歌 ・連綿	［共通事項］ a:技能 仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、単体の線質や字形を生かした表現を身につけている。 b:仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート	・成果物	・観察 ・ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度